

製品名: グルタミン酸受容体 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86218**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:102 kDa; Observed MW:102 kDa

抗原情報

遺伝子名	Glutamate Receptor 1
別名	Glr1; Glr-1; GluA1; GluRA; Glur1; HIPA1; GluR-A; Glur-1; gluR-K1; 2900051M01Rik
遺伝子 ID	14799
SwissProt ID	P23818
免疫原	マウスグルタミン酸受容体 1 の組み換えタンパク質

背景

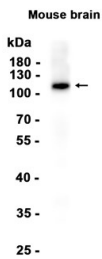
イオンチャンネル型グルタミン酸受容体。L-グルタミン酸は、中枢神経系の多くのシナプスにおいて興奮性神経伝達物質として作用す

る。興奮性神経伝達物質 L-グルタミン酸の結合は構造変化を誘発し、陽イオンチャネルの開口につながり、化学シグナルを電気インパルスに変換する。その後、受容体は急速に脱感作し、結合したアゴニストの存在を特徴とする一時的な不活性状態に入る。CACNG4、CACNG7、または CACNG8 の存在下では、グルタミン酸の継続投与時に電流フラックスの蓄積が遅れることを特徴とする再感作を示す。

研究分野

-

画像データ



グルタミン酸受容体 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。